



日本女子大学大学院

JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL

より広く、より深く GUIDE 2027



より広く、より深く、知を探求し、 新しい価値を創造します。

日本女子大学の大学院は1961年に米国のロックフェラー財団の支援を受け、家政学研究科(児童学専攻、食物・栄養学専攻修士課程)が設置されたのが始まりです。

以来発展を続け、人間生活学研究科、文学研究科、人間社会研究科、理学研究科、建築デザイン研究科が設置され、2027年には食科学研究科(仮称)の設置を構想中です。

文理を融合する多様な分野の6研究科が揃う創立の地・目白キャンパスには、専攻を越えて、学生たちが主体的に学びを深めることができる環境が整っています。

総合力を生かした教育・研究を行い、高度な専門教育とともに、幅広い教養と豊かな人間性を備えた学生を育成していきます。

Details

研究科・専攻・課程 / 収容定員 / 授与する学位

研究科・専攻・課程			収容定員				授与する学位		
研究科	専攻	課程	修士課程および博士課程前期		博士課程後期		合計収容定員	修士	博士
			入学定員(名)	収容定員(名)	入学定員(名)	収容定員(名)			
家政学研究科	児童学専攻	修士課程	10	20			20	修士(家政学)	
	被服学専攻	修士課程	10	20			20	修士(家政学)	
	生活経済専攻	修士課程	6※1	12※1			12	修士(家政学)	
	計		26	52			52		
人間生活学研究科	人間発達学専攻	博士課程(後期)			5	15	15		博士(学術)
	生活環境学専攻	博士課程(後期)			5	15	15		博士(学術)
	計				10	30	30		
文学研究科	日本語日本文学専攻	博士課程(前期)	10	20	3	9	29	修士(文学)	博士(文学)
	英文学専攻	博士課程(前期)	10	20	3	9	29	修士(文学)	博士(文学)
	歴史文化学専攻	博士課程(前期)	6	12	3	9	21	修士(文学)	博士(文学)
	計		26	52	9	27	79		
人間社会研究科	社会福祉学専攻	博士課程(前期)	10	20	3	9	29	修士(社会福祉学)	博士(社会福祉学)
	教育学専攻	博士課程(前期)	6※1	12※1	3	9	21	修士(教育学)	博士(教育学)
	現代社会論専攻	博士課程(前期)	6※1	12※1	3	9	21	修士(社会学)	博士(社会学)
	心理学専攻	博士課程(前期)	14	28	3	9	37	修士(心理学)	博士(心理学)
	相関文化論専攻	博士課程(前期)	6	12	2※1	6※1	18	修士(文学)	博士(文学)
	計		42	84	14	42	126		
理学研究科	数理・物性構造科学専攻	博士課程(前期)	12※1	24※1	3	9	33	修士(理学)	博士(理学)
	物質・生物機能科学専攻	博士課程(前期)	12※1	24※1	2※1	6※1	30	修士(理学)	博士(理学)
	計		24	48	5	15	63		
建築デザイン研究科	建築デザイン専攻	修士課程	20	40			40	修士(建築デザイン)	
食科学研究科(仮称)※2	食科学専攻(仮称)※2	修士課程	10	20			20	修士(食科学)	
合計			148	296	38	114	410		

※1 2027年4月より定員変更予定 ※2 2027年4月設置構想中

2027年4月1日(予定)

修業年限

修士課程の標準修業年限は、2年とします。博士課程(前期・後期)は、前期2年および後期3年の課程に区分し、前期2年の課程は、修士課程として取り扱うものとします。ただし、職業を有しているなどの事情により、あらかじめ標準修業年限を越えて一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修することを希望し、認められた長期履修学生の修士課程および博士課程前期の修業年限は、3年または4年とします。

課程の修了

修士課程または博士課程前期に2年以上在学し、履修授業科目について32単位以上(建築デザイン研究科建築デザイン専攻は36単位以上)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格した者には、その専攻するところに従い、修士の学位を授与します。博士課程に5年(修士課程または博士課程前期を修了した者については、当該課程における2年の在学期間を含む)以上在学し、履修授業科目について32単位以上(本学建築デザイン研究科建築デザイン専攻修了者については36単位以上、理学研究科は55単位以上)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格した者には、その専攻するところに従い、博士の学位を授与します。

Check!

大学院入試情報詳細をパソコン・スマホでみる
<https://www.jwu.ac.jp/unv/admission/grd/index.html>
 ◎詳しい内容やお問い合わせは、右記から見るができます。



研究科のご案内

家政学研究科食物・栄養学専攻は、2027年度から食科学研究科食科学専攻に改組の予定です。

NEW

● 食科学研究科（仮称）

「食」を探究し、未来を創る。

超高齢社会を迎えている今、健やかで心豊かな暮らしのために「食」が担う役割は大きくなっています。食科学研究科食科学専攻（仮称）では、健康的に生きるための「食」のみならず、心の豊かさのための「食」に貢献するべく、食品の栄養素や機能、調理操作やおいしさ、食と疾患の関わり、食習慣や食環境など広範な問題を科学的に探究します。

活躍の場は、大学や企業などの研究機関における食品学・調理学・栄養学分野の研究者、大学病院等の高度医療施設の管理栄養士、専修免許を有する家庭科教諭や栄養教諭、博士課程への進学などから大学教員など多岐にわたります。未来を担う生活者と活力ある持続可能な社会のために、食環境から先端テクノロジーまでを網羅し、「食」の専門知識や技術を生かして、「食」で未来を創造するプロフェッショナルを育成していきます。

食科学専攻（仮称）



食品学、調理学、栄養学の理論・応用に関する高度な学識を養い、修士論文のテーマを中心として研究能力を養います。多くの食品企業研究者、大学教員を輩出しています。



● 建築デザイン研究科

「住まう」を追究する総合性

建築デザインは、豊かな専門知識だけでなく、総合する力や創造力も必要とされる領域です。そのニーズに対応できるよう、建築デザイン研究科では、建築・住居・都市空間を対象に、高度な専門性のあるキャリア形成につながる授業・研究指導を行います。また、一人ひとりの関心に合わせた、少人数での丁寧な教育の場を用意しています。

建築デザイン専攻



「住まう」視点で、建築デザインの深い学識と高い研究・開発能力および設計力を養います。未来に向けて総合的に環境について考え創造するすぐれた研究者、建築家、技術者を輩出します。



● 家政学研究科

輝くプロフェッショナルズ

家政学研究科は、児童学、被服学、生活経済の3専攻を修士課程として設置しています。

いずれの専攻においても、専門分野に関する学識や高度な専門職としてのキャリア形成に造詣の深い教員が、共に研究を進めながら、優れた人材の育成を目指します。

高度で専門的な3専攻の研究には、統合力や創造力も必要とされます。このため、すべての専攻において「輝くプロフェッショナルの育成」が可能です。

児童学専攻



児童学の専門的な知識をもって社会で活躍できる人材を育成します。授業科目は学生の問題意識、自主性を尊重した選択性を重視しており、児童学に関する文献のほか、観察室・プレイルームなどの設備も整っています。

被服学専攻



多様な側面を持つ「衣」に関する高度な専門知識と研究能力を養います。さまざまな環境に適合し、心と身体の健康を維持するための「衣」と豊かな服飾文化を創造できる人材を育成します。

生活経済専攻



さまざまな生活問題を経済的な視点と生活公共の視点から追究し、理論・現実の両面に関する高度な学識と研究能力を養います。社会人にも広く門戸を開いています。



人間生活学研究科



集まれ、知の牽引者たち

修士課程である家政学研究科、建築デザイン研究科および食科学研究科（仮称）を基礎としている人間生活学研究科は、近年の自然・社会における諸環境の著しい変化に広く対応した、人間生活全般にわたる学際領域への研究展開をはかるべく組織された後期3年の博士課程です。基礎となる個々の専門研究を深化するとともに、生活を広範囲かつ総合的にとらえ、より高度で質の高い研究を目指すために、人間生活学研究科は「人間発達学専攻」と「生活環境学専攻」の2専攻によって構成されています。本研究科の修了者には、博士(学術)の学位が授与されます。

人間発達学専攻



人間の成長発達段階における課題を心理、文化、環境などの観点から探求します。また、人間の身体の発生や発達、発育について、栄養、保育、運動、社会などの人間生活に関わる学際的観点から究明し、健康の保持増進や疾病予防・治療を目指します。

生活環境学専攻



「人とそれをとりまくさまざまな衣・食・住環境」の間の関係性、機能性を考察するという視点から、より快適で健やかな生活のあり方について、自然科学的、社会経済的、文化的といったさまざまな手法を用いて研究を展開していきます。

文学研究科



人間性の核心と拡がりに向かう

文学とは、古来、言葉を媒介とした人間の文化の諸相を広く包摂した表現でした。近代の科学・学芸の進展は文学研究の分野を広げると同時に細分化をもたらしましたが、文学研究が総合的な人間性のありかたの追究であることに変わりはありません。

わが文学研究科は、日本語日本文学専攻・英文学専攻・歴史文化学専攻からなります。

まず、それぞれが最新の研究に必須な独自の研究分野と精緻な方法意識とを涵養することに努め、その上で、文学・言語・歴史に共通する普遍的な精神を築けるよう、互いに連携して学際的なカリキュラムも設定しています。

日本語日本文学専攻



日本文学・日本語学とそれに関連する分野の高い学識を培い、主体的で創造的な研究活動を展開できる力を伸ばします。デジタル時代においても、学術研究、教育、日本文化の継承・発展に指導的役割を担える人材の育成を目指しています。

英文学専攻



イギリス文学、イギリス文化、アメリカ文学、アメリカ研究、言語・英語研究などの分野において専門的な研究を行います。国際的な視野を持ち、学術進歩に貢献できる人材を育成します。

歴史文化学専攻



歴史学への社会的要請に応え、日本史・東洋史・西洋史・歴史表象の各分野で、高い見識と研究能力を備え、世界的視野から比較史的究明を行うことのできる研究者・教育者を育成します。

人間社会研究科



社会に貢献する人材を生み出す

人間社会研究科は5専攻からなり、学際的教育研究を通じて、常に変貌していく人間社会に関する学問および実践的活動を探究し、研究者あるいは高度な専門の実践者として活躍し、それによって、人々の幸福と社会の発展に貢献できる人材を養成することを目的とします。

本研究科の教育研究は、「社会への貢献」を目的とします。その意味は二重です。一つは社会の時流に流されることのない、歴史的に大学の社会的存在意義とされてきた「真理」「学問」「科学」の探求であり、今一つは、近年大学にとみに求められている実用的・実践的な力量の育成です。

社会福祉学専攻



現代社会に必要とされる総合的かつ高度な社会福祉理論を修得、研究と実践能力の向上を目指します。

教育学専攻



個人の生涯にわたる学習・教育の問題を社会との関連において実証的・理論的に考えとともに、家庭・学校・地域社会・職場などが抱える教育課題の解決を追究します。

現代社会論専攻



多様化する現代社会の現象や問題に対し、社会学をはじめ歴史学や人類学、経済学など幅広い視野からアプローチ。深い学識を基礎に、新たな視点からの多面的な分析能力を養成します。

心理学専攻



高い専門性を持った心理臨床家や、高度な研究能力を持つ心理学の研究者を養成します。本専攻は公認心理師および臨床心理士養成のカリキュラムに対応しています。

関連文化論専攻



複雑化、多元化の様相を深めていく人間文化の展開に対して、文化学の新しいパラダイムを構築し、また文化的価値の新次元を開拓できる、豊かな学識と研究能力を養います。

理学研究科



深い探求力と自由な発想力

理学研究科には、数理・物性構造科学専攻と物質・生物機能科学専攻があります。前者には数理構造部門、情報システム構造部門、構造物性部門があり、数学、情報科学、物理学を基軸とした研究を行っています。後者には物質機能部門、細胞分子機能部門、生理分子機能部門があり、化学、生物学を基軸として分子レベルまでの研究を行っています。いずれの部門でも基礎から最先端までの研究を行っており、社会に出た後に、論理的な思考法と確かな技術に基づいて実践できるように学びます。学際的な時代に対応するために、二つの専攻間で専攻を越えた講義の受講、意見交換ができる環境を作っています。深い探求力と自由な発想力を身につけて、社会に踏み出して欲しいと思います。

数理・物性構造科学専攻



数理／自然／社会現象における諸問題を、数学、情報科学、物理学の側面から探究して課題を解決します。研究者・技術者として活躍できる専門性を養います。

物質・生物機能科学専攻



化学および生物学の側面から、無機物質、有機物質、細胞、個体などの機能を探究します。高度な専門知識と技術を活かして活躍できる研究者・技術者を養成します。

他の大学院における授業科目の履修

各研究科委員会において、あらかじめ他大学の大学院と協議して双方の承認が得られたとき、学生は、当該他大学の大学院の授業科目を履修することができます(日本女子大学大学院学則第12条)。この規定により履修した単位は、15単位を超えない範囲で本大学院において履修したものとみなすことができます。(※1)

研究科		専攻	協定校
全研究科全専攻			●お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科
家政学	文学	人間社会 建築デザイン	●学習院大学大学院 国際文化交流研究科
家政学研究科		建築デザイン研究科	●和洋女子大学大学院 総合生活研究科
文学研究科		全専攻(博士課程前期・修士課程)	●学習院大学大学院 人文科学研究科 日本語日本文学専攻 ●早稲田大学大学院 文学研究科 日本語日本文学コース
		日本語日本文学専攻	
		英文学専攻	●青山学院大学大学院 ●明治大学大学院 ●津田塾大学大学院 ●法政大学大学院 ●明治学院大学大学院 ●東京女子大学大学院 ●上智大学大学院 ●立教大学大学院 ●東洋大学大学院 ●聖心女子大学大学院 ●東北学院大学大学院
		歴史文化学専攻(博士課程前期)	●東京女子大学大学院 人間科学研究科 人間文化科学専攻 歴史文化分野 ●聖心女子大学大学院 文学研究科 史学専攻
人間社会研究科		社会福祉学専攻	●上智大学大学院 ●日本社会事業大学大学院 ●関東学院大学大学院 ●明治学院大学大学院 ●大正大学大学院 ●立教大学大学院 ●東洋大学大学院 ●立正大学大学院 ●法政大学大学院 ●淑徳大学大学院 ●日本大学大学院
		教育学専攻	●立教大学大学院 文学研究科 教育学専攻
		現代社会論専攻	●茨城大学大学院 ●東洋大学大学院 人文社会科学研究科 社会学研究科 ●大妻女子大学大学院 福祉社会デザイン研究科 福祉社会システム専攻 人間文化研究科 現代社会研究専攻 ●常盤大学大学院 ●駒沢大学大学院 人間科学研究科 人文科学研究科 社会学専攻 ●日本大学大学院 ●埼玉大学大学院 新聞学研究科 人文社会科学研究科 ●法政大学大学院 ●埼玉県立大学大学院 社会学研究科 社会学専攻 保健医療福祉学研究科 ●武蔵大学大学院 ●成蹊大学大学院 人文科学研究科 社会学専攻 文学研究科 社会文化論専攻 ●明治学院大学大学院 ●専修大学大学院 社会学研究科 社会学専攻 文学研究科 社会学専攻 ●明治大学大学院 ●創価大学大学院 政治経済学研究科 政治学専攻 文学研究科 社会学専攻 文学研究科 臨床人間学専攻 ●大正大学大学院 ●立教大学大学院 人間学研究科 社会学研究科 社会学専攻 ●千葉大学大学院 ●立正大学大学院 人文公共学府 人文科学専攻・総合文化研究専攻 文学研究科 社会学専攻 ●中央大学大学院 ●流通経済大学大学院 文学研究科 社会学専攻・社会情報学専攻 社会学研究科 社会学専攻 ●都留文科大学大学院 社会学研究科 社会学地域社会研究専攻 文学研究科 社会学地域社会研究専攻
		心理学専攻	●白百合女子大学大学院 文学研究科 発達心理学専攻 ●東京女子大学大学院 人間科学研究科 人間社会科学専攻 心理・コミュニケーション科学分野
理学研究科		全専攻	●学習院大学大学院 自然科学研究科
		数理・物性構造科学専攻(数学分野)	●中央大学大学院 ●日本大学大学院 理工学研究科 数学専攻 総合基礎科学研究科 地球情報数理科学専攻 基礎数理部門 ●学習院大学大学院 ●立教大学大学院 自然科学研究科 数学専攻 理学研究科 数学専攻 ●上智大学大学院 ●東京女子大学大学院 理工学研究科 理工学専攻 数学領域 理学研究科 数学専攻 ●国際基督教大学大学院 ●東京理科大学大学院 アーツ・サイエンス研究科 理学専攻 理学研究科 数学専攻 応用数学専攻 ●明治大学大学院 ●津田塾大学大学院 理工学研究科 数学専攻 理学研究科 数学専攻 情報科学専攻 先端数理科学研究科 現象数理学専攻

入学前の既修得単位の認定

研究科委員会が、教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学院において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む)を、15単位を超えない範囲で本大学院において履修したものとみなすことができます(日本女子大学大学院学則第14条)。(※1)

※1 大学院学則第12条及び第14条により認定された単位は、あわせて20単位を超えない範囲で本大学院において履修したものとみなすこととなります。

教育職員免許

本大学院の修了者は下表の通り、教育職員免許状が得られます。ただしいずれも、その専修免許状の基礎となる一種免許状を取得している者で、栄養教諭専修免許状においては管理栄養士の免許を受けている者であり、大学が独自に設定する科目について大学院における規定の単位数を修得した者に限ります。

研究科	専攻	免許状の種類	免許教科	研究科	専攻	免許状の種類	免許教科
家政学研究科	児童学専攻	幼稚園教諭専修免許状	家庭	人間社会研究科	社会福祉学専攻	中学校教諭専修免許状	社会
		小学校教諭専修免許状				公民	
		高等学校教諭専修免許状				福祉	
	被服学専攻	中学校教諭専修免許状	家庭		教育学専攻	中学校教諭専修免許状	社会
		高等学校教諭専修免許状	公民			高等学校教諭専修免許状	公民
		中学校教諭専修免許状	社会			幼稚園教諭専修免許状	
生活経済専攻	高等学校教諭専修免許状	公民	現代社会論専攻	中学校教諭専修免許状	社会		
	中学校教諭専修免許状	家庭		高等学校教諭専修免許状	公民		
	高等学校教諭専修免許状	公民		中学校教諭専修免許状	社会		
文学研究科	日本語日文学専攻	中学校教諭専修免許状	国語	理学研究科	相関文化論専攻	高等学校教諭専修免許状	公民
		高等学校教諭専修免許状				公民	
	英文学専攻	中学校教諭専修免許状	英語		数理・物性構造科学専攻	中学校教諭専修免許状	数学
		高等学校教諭専修免許状	社会			高等学校教諭専修免許状	理科
歴史文化学専攻	中学校教諭専修免許状	社会	高等学校教諭専修免許状	情報			
	高等学校教諭専修免許状	地理歴史	高等学校教諭専修免許状	理科			
食科学研究科 (仮称) ※	食科学専攻 (仮称) ※	中学校教諭専修免許状	家庭	物質・生物機能科学専攻	中学校教諭専修免許状		
		高等学校教諭専修免許状	家庭		高等学校教諭専修免許状		

※2027年4月設置構想中

その他の資格

専攻により下表の通り受験資格が得られます。ただし、いずれも指定科目など条件がありますので、専攻の指示に従ってください。

専攻	受験資格	資格取得について
心理学専攻	公認心理師	心理学専攻の臨床心理学領域は公認心理師のカリキュラムに対応しています。大学で所定の科目を単位修得後、本専攻において所定の科目を修了した者は公認心理師の受験資格を取得できます。
	臨床心理士	心理学専攻の臨床心理学領域は、(公財)日本臨床心理士資格認定協会の第1種校としての指定を受けています。よって、本専攻の本領域を修了した者は、実務経験なしに、臨床心理士の受験資格を取得できます。
児童学専攻 心理学専攻	臨床発達心理士	①修士の学位、②臨床実習200時間(指導予定教員に可能かどうかを確認してください)、③指定科目に対応した授業科目を心理学専攻においては20単位、児童学専攻においては12単位(いずれも本学および協定大学院の科目や資格認定委員会開催の講習会など)の条件を満たす場合、臨床発達心理士の認定申請ができます。

学費等(2027年度予定額)

2027年度の学費等は未定のため、2026年3月時点の予定額を掲載しております。8月頃に大学ホームページでお知らせします。

年額(円)

	家政学			人間生活学	文学	人間社会	理学	建築デザイン	食科学(仮称)※2	備考
	児童、被服	生活経済								
入学金※1	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	入学年度のみ
授業料	730,000	630,000	730,000	630,000	630,000	830,000	730,000	730,000	730,000	年額
施設設備費	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	年額
学生傷害・賠償責任保険料	2,430	2,430	3,670	(博前) 2,430 (博後) 3,620	(博前) 2,430 (博後) 3,620	(博前) 2,430 (博後) 3,620	2,430	2,470	2,470	入学年度のみ
合計	1,032,430	932,430	1,033,670	(博前) 932,430 (博後) 933,620	(博前) 932,430 (博後) 933,620	(博前) 1,132,430 (博後) 1,133,620	1,032,430	1,032,470		

※1 本学学部卒業者が本学博士課程前期または修士課程に入学した場合、所定の手続きにより入学金を返金します。

※2 本学大学院修士課程または博士課程前期の修了者および修了見込みの者が本学博士課程後期に進学する場合、入学金を免除します。

[注意] 1. 授業料および施設設備費は前期・後期に分納ができます。

2. 上記の学費等以外に、実験実習料が必要となる場合があります。

3. 長期履修学生の学費は、募集要項でご確認ください。

4. 学費等は在学中に改定されることがあります。

奨学金

大学院学生のための奨学金制度は、日本学生支援機構奨学金をはじめ、本学独自の学内奨学金、さらに地方自治体・民間育英団体の奨学金などがあります。

下表に挙げた学内奨学金制度には、学資援助の他、学業・人物優秀者の表彰や論文審査によるものがあります(名称及び制度内容について、今後変更が生じる場合があります)。

全研究科/名称	基準	給貸	金額	人員
成瀬仁蔵先生記念賞	創業者成瀬仁蔵先生を記念し学業・人物共に優れた大学院博士課程後期修了者	給付	審議の上決定	若干名
日本女子大学学業成績優秀賞・研究奨励賞	優れた研究を自主的に遂行しようとしている者	給付	8万円	各課程 各専攻1名
日本女子大学大学院新入生奨励金	大学院修士課程(博士課程前期)の新入生で学業成績、人物ともに優れた者	給付	20万円	各専攻 1名
森村豊明会奨励賞	専門の各分野で特に際立った成果をあげ、将来の社会貢献をめざしている者で、当該年度内に修士論文、博士論文を提出できる要件を備えている学生	給付	50万円	※ 2~4名
日本女子大学特別活動給付奨学金	学業以外の分野で優れた業績をあげた者	給付	20万円	※ 1名
家政学研究科/名称	基準	給貸	金額	人員
日本女子大学被服学科賞	被服学専攻の学業・人物優秀者	給付	審議の上決定	若干名
人間生活学研究科/名称	基準	給貸	金額	人員
鈴木深雪記念奨学金	人間生活学研究科博士課程後期に在学し、研究者としての資質・将来性を有し、優れた博士論文を執筆して博士の学位を取得しようとする意欲の高い者	給付	博士課程後期2年次と3年次に在学している2年間、月額10万円	1名
文学研究科/名称	基準	給貸	金額	人員
中島武雄奨学金	日本語日文学専攻の学業・人物優秀者	給付	審議の上決定	若干名
上村悦子奨学金	日本語日文学専攻の学業・人物優秀者	給付	審議の上決定	若干名
日本女子大学日本語日文学科賞	日本語日文学専攻の学術優秀かつ創造的な学生生活を送った学生	給付	審議の上決定	若干名
ヴェリタス賞	英文学専攻博士課程前期の論文優秀者	給付	審議の上決定	若干名
茅野薫々・雅子記念奨学金	文学研究科に在学する学資援助を必要とする学業成績優秀な者	給付	審議の上決定	若干名
人間社会研究科/名称	基準	給貸	金額	人員
松本武子奨学金	社会福祉学専攻の学業・人物優秀者	給付	10万円	若干名
理学研究科/名称	基準	給貸	金額	人員
鈴木優美子記念奨学金	理学研究科に在学し、研究者としての資質・将来性を有し、優れた業績をあげ、修士または博士の学位を取得しようとする意欲の高い者	給付	博士課程前期2年間 月額4万円 博士課程後期3年間 月額4万円	各課程 各専攻1名
建築デザイン研究科/名称	基準	給貸	金額	人員
日本女子大学住居学科賞	建築デザイン専攻の学業・人物優秀者	給付	審議の上決定	若干名

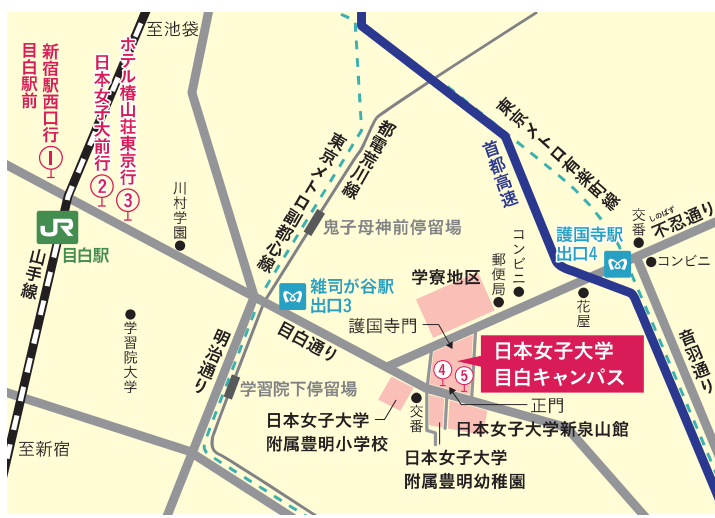
※学部・大学院を合わせた人数とする。

Access



目白キャンパス

大学院 家政学研究科 人間生活学研究科 文学研究科 人間社会研究科 理学研究科 建築デザイン研究科 食科学研究科(仮称) 2027年4月設置構想中
 大学[文学部・経済学部(仮称)2027年4月設置構想中・人間社会学部・国際文化学部・理学部・建築デザイン学部・家政学部 食科学部]
 附属豊明幼稚園、附属豊明小学校
 生涯学習センター



- JR山手線 目白駅** → 徒歩 約15分
 バス 約5分(バス停の場所は上の地図を参考にしてください)
 ●日本女子大学前行都営バス(学05)
 「目白駅前」②番乗り場→④番「日本女子大前」下車
 ●新宿駅西口・ホテル椿山荘東京行都営バス(白61)
 「目白駅前」①③番乗り場→⑤番「日本女子大前」下車
-
- 東京メトロ副都心線 雑司が谷駅(3番出口)** → 徒歩 約8分
東京メトロ有楽町線 護国寺駅(4番出口) → 徒歩 約10分
都電荒川線 鬼子母神前停留場 → 徒歩 約10分
 ※車での来校はご遠慮ください。

<https://www.jwu.ac.jp/unv/>

日本女子大学大学院

JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL

家政学研究科 人間生活学研究科 文学研究科 人間社会研究科 理学研究科 建築デザイン研究科 食科学研究科(仮称) 2027年4月設置構想中
 〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1
TEL.03-5981-3786 (入試課直通) **MAIL.n-nyushi@atlas.jwu.ac.jp**

